
秘事

抹茶小豆

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

秘事

【コード】

N6968I

【作者名】

抹茶小豆

【あらすじ】

草木も眠る丑三つ時、女は隣に眠る恋人の寝顔をみつめ、ある衝動に駆られる。

その目覚めはあまりにも突然で……。

今はまだ、真夜中。

幸恵はぼんやりと天井に眼をやる。

いつもと変わらない自分の部屋。

時計の秒針がやけに大きく耳を打つ。

隣で恋人の信也の規則正しい寝息が聞こえる。

閉じられた瞼に睫がかかる。

昼間見るいつものそれではなくて、

目を閉じ隣で眠る信也は、幾分幼く見えた。

不意に幸恵はある衝動に駆られる。

幸恵の顔に戸惑いの色が走る。

わかってるよ

わたし

わかってるから……

こんなことしちゃったら、きっとあなたに嫌われちゃう。

だって、こんなこと……

いけないことだ。

しかしそれは抗いがたく、幸恵の心を締め付ける。

禁忌・・・とでもいうべきか。

こんなこと

人は

その行いを、若さゆえの過ちと笑ってくれるだろうか。
しかし、幸恵はすでに30歳を超えていた。

この行いが笑って済ませられようはずが、ない。

いや、

だけど

でも

誘惑とはなんと甘美なものなのか。

いや、あるいは

塩っぱいのか？

幸恵は思う。

あなたの 鼻の穴 かつぱえびせん 何本はいるの？

やってみたい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6968i/>

秘事

2011年1月26日23時01分発行